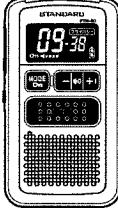


STANDARD

特定小電力トランシーバー FTH-50

取扱説明書

20チャンネル



当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」を
よくお読みください。お読みになった後は、大切に
保管してください。

このトランシーバーは国内専用モデルです。海外では
使用できません。

製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました
販売店または、当社国内営業部までお願いします。

株式会社バーテックススタンダード
国内営業部
〒153-8644 東京都目黒区中自黒4-8-8
電話：03-3719-2231

株式会社バーテックススタンダード 〒153-8644 東京都目黒区中自黒4-8-8
© 2011 VERTEX STANDARD CO., LTD. All rights reserved.



目次	
● 防水(防沫)について	1
本機の防水機能を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。	
キズ、劣化、外れ、活動などの確認	
・ボタンやフィッチ類のラバーパッキン	
・SP/MIC ジャックのキャップ	
・電池ケースの防水パッキン	
お手入れの仕方	
水・砂・泥などがついたときは、柔らかいきれいな布で拭きとてください。必ずSP/MIC ジャックのキャップ、電池ケースを確実に閉めた状態で拭きとてください。	
オーバーホールのお求め	
お買い上げから1年経過した後、オーバーホールを行って1年経過した後、またはキズ、劣化が確認されたときはオーバーホールをお奨めします。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。	
●アフターサービス	
保証期間はお買い上げの日より1年です。	
本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から1年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお受けいただけます。	
過失など、故障内容によっては、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。	
●保証書は大切に保管してください。	
保証書を紛失しまさず、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したとしても、お問い合わせさせていただきますのでご承ください。	
また、お買い上げ日、販売店名等の必要事項が記入しない保証書も無効扱いさせていただきますので、お買い上げいただきましょ。販売店名、お買い上げ年月日等が正しく記されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。	

お困り

故障かな？ と思ったら…

間違った操作をしていませんか？
修理依頼される前に、ちょっとお確かめください。

○ 電源がからない！

- ・電池が正しく取り付けてありますか？
- ・電池は消耗していませんか？

○ 送信できません！

- ・PTT(送信ボタン)を正しく押していますか？
- ・受信専用モードがONになっていませんか？
- ・相手が話し中ではありませんか？
- ・信号を受信しているときは、送信できません。
- ・外部マイク使用の場合、きちんと最後まで差し込まれていますか？

○ 通話できない！

- ・相手と同じ通話モード(ノーマルモード・グループモード)に設定していますか？
- ・相手と同じチャネルに設定していますか？
- ・相手と同じグループ番号(またはDCSコード)に設定していますか？
- ・プライバシーモードの場合、送信側ともプライバシーモードの設定がされていますか？
- ・相手との距離が離れていませんか？
- こちらの声が、相手側で小さく聞こえる！
- ・PTT(送信ボタン)を押すと同時に、マイクホンを塞いでいませんか？
- ・マイクから元気離れていますか？
- ・音量調整が正確ですか？
- 聴手に電波が切れます！
- ・オートワーカー機能が設定されていませんか？
- ・電池が消耗していませんか？
- グループモードで運用中に他の人の通話を聞こえます！
- ・モニター機能になっていますか？
- ・電源ボタンを長押し(約1秒)して電源を切り、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して電源を入れると解消されます。
- ・他の人も同じグループ番号を使用している場合があります。

いつかがいいとき

スイッチを押しても反応しないときや、音飛びかな？と思ったら…』の項目に従って点検しても正常に動作しないときは、次の操作を行ってください。

● リセットを行うと、登録した内容はすべて消され、工場出荷時の「初期値」に戻ります。

- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ② ▲ボタン、▼ボタン、MODE(Om)ボタンを同時に押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して電源を入れます。
- ③ 「リセ」と鳴り、オールリセットされます。

一時的にモードを切る

受信信号の状態を、一時的にモニターする機能です。

- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ② ▲ボタン、▼ボタン、MODE(Om)ボタンを同時に押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して電源を入れます。
- ③ 「モニ」と鳴り、オールリセットされます。

定格

送受信周波数：1ch ~ 9ch : 422.2000MHz ~ 422.3000MHz
(128chステレオ) 01ch ~ 11ch : 422.0500MHz ~ 422.1750MHz

電波形式：F3E

通信方式：シンプレックス方式

送信出力：10mW以下(電波法施行規則第6条適合)

受信感度：-7dBµV以下(約12dB SINAD)

低周波出力：400mV以上(約8Ω、THD10% 電源電圧3.7V 試験用)

(リチウムイオン電池パック「BN60」使用時)

動作温度範囲：-10°C ~ +50°C

定格電圧：DC 3.7V

動作電流範囲：DC 2.2V ~ 4.5V

本体寸法：100 × 55 × 26mm

(高さ×幅×奥行き：アンテナおよび突起部を含まず)

本体重量：約110g(アルカリ単3乾電池を含まず)

この定格は性能面でのためご参考なく変更することがあります。

※ RoHS 指令対応

オプション

- ① リチウムイオン電池パック「BN60」
- ② リチウムイオン電池ケース「JCPBN0001」
- ③ アルカリ単3乾電池ケース「JCPLN0001」
- ④ シンプル充電器(ACアダプター付)「JCPCN0001」
- ⑤ 6連电池電池(ACアダプター付)「JCPCN0002」
- ⑥ 連続チャージャースタンド「CD-54」
- ⑦ ACアダプター(連続チャージャースタンド用)「PA-47A」
- ⑧ スピーカーマイク：「JSPMN0001」
- ⑨ ブームマイクイヤホン：「JSPRN0003」
- ⑩ 小型タイプマイク&イヤホン：「JSPRN0001」
- ⑪ タイピングマイク&イヤホン(マイク感度切替付)：「JSPRN0002」

セットメニューで設定する便利な使いかた ②

空きチャネルを自動で探す

PTT(送信ボタン)を押すと、そのとき空いているチャンネルに設定され(相手のトランシーバーも、自動的に同じチャンネルに設定されます)交信することができます。

- 相手のトランシーバーも、同じグループ番号(またはDCSコード)に合わせた後、オートチャンネルセレクト機能(「Om」)にしてください。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ② MODE(Om)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③ 「Ac+P」が表示されるまで、MODE(Om)ボタンを何度も押します。
- ④ ▲または▼ボタンで、「Ac+P」にあわせます。
- ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。

チャンネル表示が「Ac+P」で変わり、自動的にクリエーブモードになります。

● PTT(送信ボタン)を約1.5秒以上押すと、相手と交信することができます。



LEDインジケーターを点灯しないようにする

送信時に「赤色、信号を送信時に「青色」に点灯するLEDインジケーターを、点灯しないようにすることができます。

- 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ① MODE(Om)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ② 「Leon」が表示されままで、MODE(Om)ボタンを何度も押します。
- ④ ▲または▼ボタンで、「Leon」にあわせます。
- ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。



自動でマイクの感度を切替える

周囲の騒音の状況に応じて、自動的に適切なマイク感度に切り替わります。

- 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ① MODE(Om)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③ 「Alon」が表示されるまで、MODE(Om)ボタンを何度も押します。
- ④ ▲または▼ボタンで、「Alon」にあわせます。
- ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。



音量を調整する

相手の音質、高域が強調された音質に替えることができます。

- 音量の大きい音などでは、相手の声が聞きやすくなる場合があります。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ② MODE(Om)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ④ 「Neon」が表示されままで、MODE(Om)ボタンを何度も押します。
- ④ ▲または▼ボタンで、「Neon」にあわせます。
- ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。



送信を抑制して異常音質として使用する

ガイドシステム接続などに応じて、PTT(送信ボタン)を押しても「ブーブー…」と音が鳴ります。

- 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ① MODE(Om)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③ 「rnb」が表示されるまで、MODE(Om)ボタンを何度も押します。
- ④ ▲または▼ボタンで、「rnb」にあわせます。
- ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。



チャンネルの表示方法を切り替える

チャンネルの表示方法を、次の2通りから選択することができます。

- チャンネル表示方法が異なるトランシーバーと交信する場合、相手のチャンネル表示方法に合わせることができます。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ② MODE(Om)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ④ 「ch-be」が表示されままで、MODE(Om)ボタンを何度も押します。
- ④ ▲または▼ボタンで、「ch-be」にあわせます。
- ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。



セットメニューによる機能設定

本機には21種類のセットメニューがあります。

各メニューの設定を変更するときは次の手順を行います。

- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ② MODE(Om)ボタンを押しながら電源ボタンを長押し(約0.5秒)して電源を入れます。
- ③ 「UP」が表示されるまで、MODE(Om)ボタンを何度も押します。
- ④ MODE(Om)ボタンを押すたびに、セットメニューが切り替わります。
- ⑤ 戻るボタンで「セットメニュー」を選択します。
- ⑥ ▲または▼ボタンで、点滅する設定項目を選択します。
- ⑦ PTT(送信ボタン)を押します。
- ⑧ セットメニューが設定が終了します。
- ⑨ PTT(送信ボタン)以外に、電源ボタンを長押し(約1秒)して電源を切つても、セットメニューの設定を終了することができます。



受信専用モードのON/OFF(ガイドシステム子機などに使用すること)

VOX機能と同時に使用することはできません。

- ONにすると、PTT(送信ボタン)を押しても「ブーブー…」と音が鳴ります。
- VOX機能が耳に響きすぎるとOFFに設定してください。



ピーピー音のON/OFF

ピーピー音を長押ししたときに、確認音として電子音が鳴ります。

- VOX機能が耳に響きすぎるとOFFに設定してください。
- ONにすると、送信を始めた際電子音が鳴ります。
- 外部マイクでVOX機能を使用するなど、送信状態にあったことを警告することができるのです。



送信二重化のON/OFF

ONにすると、送信を始めた際電子音が鳴ります。

- 外部マイクでVOX機能を使用するなど、送信状態にあったことを警告することができるのです。
- ONにすると、電子音が鳴ります。



チャンネル表示の切り替え

チャンネルの表示を、1～9、01～11の表示(既に設定した場合)、または、01～20の表示(新たに設定した場合)に、替えることができます。

- MODE(Om)ボタンを押すたびに、表示が切り替わります。
- ONにすると、1～9、01～11の表示(既に設定した場合)、または、01～20の表示(新たに設定した場合)に、替えることができます。



LEDインジケーターのON/OFF(ブルーブー)

OFFにすると、送信時LEDインジケーターが点灯しないようになります。

- MODE(Om)ボタンを押すたびに、LEDインジケーターが点灯します。
- ONにすると、送信を始めた際電子音が鳴ります。
- 外部マイクでVOX機能を使用するなど、送信状態にあったことを警告することができるのです。



照明ランプの設定

通常2回で点滅されており、ボタンを押すと照明ランプが約2秒間点滅します。

- OFFにすると、照明ランプが常時消灯することができます。
- 明るさが選択できます。



コール音の選択(1～5の選択)

コール音で呼び出しきれる「コールーン機能」が動作時の、コール音が鳴る時間を選択できます。

- 1～5のいずれかの数字を電子音の回数で送信します。
- 送信中にMODE(Om)ボタンを押している間、コール音を選択した回数送信することができます。



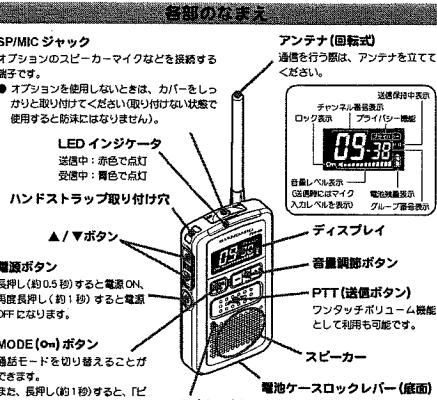
PTTディレイ機能のON/OFF(ブルーブー)

相手の話が終わって、待ちかけて放送になるときに鳴る「ブーブー」という音が鳴らすノイズ音をカットして受信します(相手のトランシーバーも、PTTディレイ機能をONにしてください)。

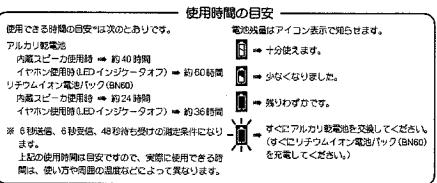
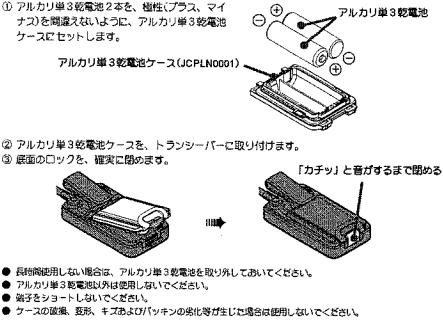
- ONにすると、送信できる範囲にいるか、または電源を切っていないか、常にチェックできます。



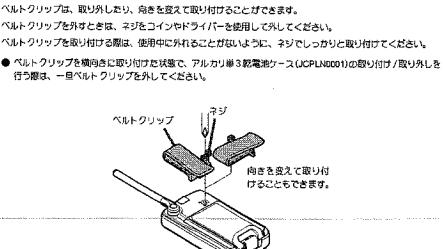
基本的な使いかた



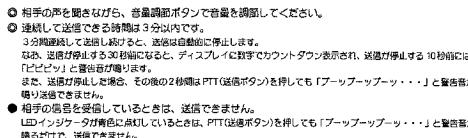
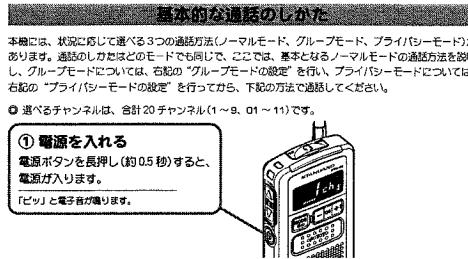
アダプタリード用バッテリーケースの取り付けかた



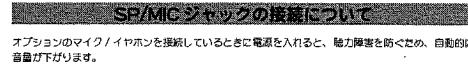
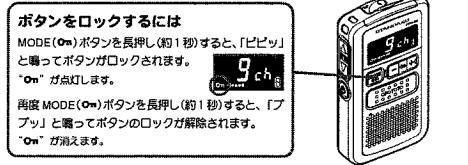
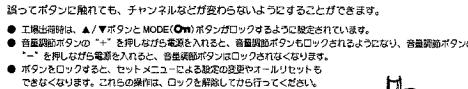
ベルトクリップの取り付けかた



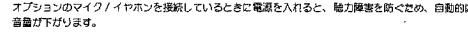
各部の名称



ボタンロックする



SP/MIC ジャックの接続について



● 音量レベルを半分以上にしているときのみ、動作します。



● 外部マイク接続時は防音になります。外部マイク接続時に荷物等でご利用になる場合は、外部マイクのケーブルを伝わってトランシーバー内に入れないよう注意ください。故障の原因となります。

● ベルトクリップを取り付ける際は、アルカリ単3乾電池ケース(JCLN0001)の取り付け/取り外しを行なう際は、一旦ベルトクリップを外してください。



便利な使いかた

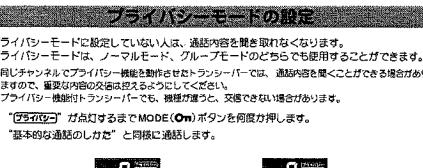
電話モードの切り替えかた

電話を行うモード(通話モード)として、次の3通りの方法があります。

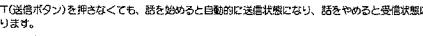
- 初回チャンネルにプライバシーモード→ノーマルモード、グループモードのどちらでも同じくできます。
- 同じチャンネルにプライバシーモード→ノーマルモード、通話内容を聞くことができる場合があります。
- プライバシーモード→他のグループの通話が聞こえない心配がないとき。
- プライバシーモード→他のグループの通話が聞こえてわずらわしいとき。
- チャンネル番号とグリーン番号が一致する場合ができます。
- ブラバー機能→他の人に通話を聞かれたくないとき。

① 「プライバシーモード」が点灯するまでMODE(On)ボタンを何度も押します。

② 「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。



セットメニューで設定する便利な使いかた ①



① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。

② MODE(On)ボタンを長押ししながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

③ “oc-F”が表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度も押します。

④ “▲または▼ボタン”で、“oc-n”にあります。

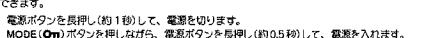
⑤ PDT(送信ボタン)を押します。

設定操作を行なった状態で戻します。

● VOX機能や録音機能を、セッティングモードで細かく設定することができます。

● VOX機能はPTTホールド機能および自動マイク切替機能と同時に利用することはできません。

送信状態を保持する



① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。

② MODE(On)ボタンを長押ししながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

③ “Ph-F”が表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度も押します。

④ PDT(送信ボタン)を押します。

設定操作を行なった状態で戻します。

● 連続して送信できる時間は3分以内です。

● VOX機能と同時に利用することはできません。

同時に音量レベルを切り替える

アクセサリーの外部マイクを使用している時、PDT(送信ボタン)を押すと、同時に設定した音量に上げます。

また、おまかせの音量に戻すことができます。

① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。

② MODE(On)ボタンを長押ししながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

③ “P5-F”が表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度も押します。

④ PDT(送信ボタン)を押します。

設定操作を行なった状態で戻します。

● 左側面の▲または▼ボタンで、希望の音量レベルを選擇します。

● VOX機能と同時に利用することはできません。

通話可能か確認チェック

グループモード時に、あらかじめ下記の設定を行なっておくと、「通話できる範囲にいるか」または「電源を切っているか」が確認できます。

① MODE(On)ボタンを長押ししてグループモードにします。

併せて同じくグループモードのチャンネル番号に設定しているか確認します。

② 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。

③ MODE(On)ボタンを長押ししながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

④ MODE(On)ボタンを長押しして“cb-on”を選択します。

⑤ PDT(送信ボタン)を押します。

セッティングメニューの設定終了し、ディスプレイに“cb”と“グループ番号”が交互に点灯します。

⑥ 左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。

■ 設定可能確認するには（電子音とディスプレイの表示で確認できます）

初期設定	・相手と通話できる範囲にいる ・相手の電源が入っている	約1分後に一度だけ「ビビ」と鳴る
	・相手と通話できない場所にいる ・相手の電源が切っている	約1分後に一度だけ「ブブ」と鳴る

○ 同じチャンネルで同じコードナンバーガルの使用者に使われているときは、「グループモードの設定」を参照して、仲間同士他のグループ番号に替えてください。

● 他のグループの人が同じチャンネルを使って通話している時は、音声は聞こえませんが、要確認になります。